

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	開始 年 度	平成23年度
----------------	--------------------	-----------	--------

団 体 名	—
-------	---

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱
-------------------------	---------------------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内に居住または市内に居住する予定のある方で、一定の要件に該当する方に対し支援する。
目 的	(目 的) 本補助事業の実施により、環境に配慮したクリーンエネルギー活用に関する市民意識を醸成する。
・ 効 果	(効 果) クリーンエネルギーを普及啓発することにより、環境に配慮した美しいまちづくりに繋がる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	26	9,497					227,107	236,604
	27	5,691					136,266	141,957
	28	3,917					91,024	94,941
	29	4,575					87,325	91,900
	30	3,845					77,955	81,800
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	26			236,604				236,604
	27			141,957				141,957
	28			94,941				94,941
	29			91,900				91,900
	30			81,800				81,800

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☒	平成25年度の171件をピークに年々申請数が減少している。 2019年以降、電力の固定価格買取制度の終了に伴い、売電価格が下落するため、売電を目的とした設置(需要)は減少すると見込まれる。一方で、蓄電池の普及、性能の向上により、自家用電源としての需要が上昇するものと思われる。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	これまでの8年間の実績等から市民意識の醸成、クリーンエネルギーの普及啓発の役割を一定程度果たしてきたと思われる。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	発電設備の工事費に対し、本補助事業による支援は、微々たるものであり、設備の設置が継続的に補助金に依存する性質のものではないと考えられる。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	本事業は、クリーンエネルギー普及啓発、意識の醸成に貢献していると思われるが、制度開始から8年が経過し、一定程度その役割を果たしたものと考えられる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
申請件数	
H 2 6	1 1 0 件
H 2 7	6 5 件
H 2 8	4 5 件
H 2 9	5 2 件
H 3 0	4 4 件
(達成状況)	



※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☐	
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) (見直しの時期)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☒ その他	

(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容) 本補助事業は、今年度で9年目になる。 この間、太陽光発電を取り巻く環境も変化しており、 本補助事業による当初の目的は一定程度達成されたと 考え、2019年度での廃止を検討する。
------------------------	---

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 令和 年度
令和 年度	☐ 終期到来時に再検討	